

2022年3月期 第1四半期決算説明会 質疑応答要旨

【業績 実績・予想】

Q: 1Qの実績について聞きたい。

A: 営業利益率が8%近く出ている。物量が心配したほど落ちなかったこともあるが、経費などのコントロールができており自力がついた。例えばソフト開発用の最終検査ツール導入や設計の標準化など、開発効率の改善が経費抑制につながっている。デジタル化による働き方の変化や合理化もある。

Q: 通期予想について教えてほしい。また半導体不足影響についてはどのように見ているか。

A: 1Qの好調な業績を反映した上方修正とした。半導体については、供給側は計画通りまたはそれ以上に早く戻っている状況と思うが、想像以上に需要が強いので需給が緩む時期は見通しが難しい。半導体不足による車両減産のリスクは依然あると考え、2Q以降の見通しは当初公表から変更していない。

【注力する分野】

Q: 注力分野のアップデートを聞きたい。

A: 電電動関連のトップラインを伸ばすのは従来と変わらない手ごたえを感じている。インバーターの生産のほか、電池監視 ECU の拡販も順調に進んでいる。ADAS 分野も収益力が上がってきており、今後は拡販を一層進めていく。

Q: ダイアログデーで紹介された、CO2 再利用の新事業について方向性を聞きたい。

A: これまでの「1個いくら」で「いくら儲かる」という計画から、ROIC と CO2 排出への貢献によるポートフォリオの入替に考えを変えた。会社としてしっかり取り組み、カーボンニュートラル製品の事業化を進めていく。

【株主還元方針】

Q: 株主還元について聞きたい。

A: 配当は、長期安定的に水準を向上させる方針は変わらない。利益配分的な配当性向よりも、株主への利回りとして考える DOE の方が、この方針に整合すること、資本コストを意識した株主還元を実施・強化すること、この2つの考え方から基準を DOE に刷新した。自己株式取得は株価・資本構成の状況に応じてより機動的におこなっていく。

以上